

FANCT

旭川工業高等専門学校 学校だより“ファンクト”
平成27年5月発行

vol.122



Contents

平成27年度の旭川高専

- 校長からのメッセージ
- 主事団からのメッセージ
- 新学級担任からのメッセージ
- 新任教員からの挨拶

学生総合支援センターからのお知らせ
新入生合宿研修
平成27年度行事予定(6月～10月)





校長 清水 啓一郎

校長からのメッセージ

新入生諸君も4月のオリエンテーションが終わって、旭川高専にも少しは慣れて、「学生」と呼ばれることに違和感が無くなったことと思います。「学生」には自分で考え行動することが求められます。高専には、「学生」諸君の自主性を伸ばす、学びや課外活動など様々な舞台があります。哲学者アランは「幸福論」の中で、「誰だって強いられた仕事は好きではない。好きでやっている仕事は楽しみであり、もっと言えば幸福である。」とっています。

21世紀に入って、様々な分野で、グローバル思考や創造性が要求され、従来の国内完結型思考や画一性から抜け出すことが必要となっています。その為に、政府は第2期教育振興基本計画(2013年～2017年)のキーワードとして「創造・自立・協働」を掲げ、「社会を生き抜く力の養成」、「未来への飛躍を実現する人材の養成」、「学びのセーフティネットワークの構築」、「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」を教育の基本的方向性と決めました。

学生諸君は、在学中に「社会を生き抜く力」を身に付けて「未来への飛躍を実現する人材」となって旭川高専を卒業して下さい。それには、高専生活を通じて自ら考え行動する事を習慣付け、21世紀スキル(①創造性とイノベーション、②批判的思考、課題形成・解決、意思決定、③メタ認識(自己の客観視)、④コミュニケーション、⑤チームワーク、⑥情報リテラシー、⑦ICTリテラシー、⑧地域とグローバルで良き市民であること、⑨変化に適應していく中で自らのキャリアを発達させる、⑩異文化理解と異文化適應能力)を養うことです。主体的に学ぶ姿勢さえ身に付けば、日々の研鑽で徐々に力を付けていく事ができ、立派に期待に応えることができると思います。最後に、学生諸君に吉田松陰の言葉を送ります。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」



主事団からのメッセージ

当たり前のことを当たり前

本年度から教務主事を務めることになりました、システム制御情報工学科の三井です。よろしくお願いいたします。

4月5日に入学式が行われ、機械システム工学科42名、電気情報工学科45名、システム制御情報工学科42名、物質化学工学科42名、合計171名が新1年生に、3名の留学生が3年生に、23名が専攻科1年生に入学しました。また、本校教員は2名の新任教員が加わって合計64名になり、841名の本科生、専攻科生の教育・研究指導を行っています。

基本的には昨年の教育方針を継続していきますが、学生には「当たり前のことを当たり前にする」ということを言っています。多くの学生はきちんとできているのですが、①学校を休む、遅刻する、②家庭での学習時間が圧倒的に少ない、課題・レポートを出さない、③授業中寝ている、スマホをしているなどの学生が増えてきています。学生自身が自分を見つめ直し改善

していただきたいものですが、お子様の将来のためにも、我々教員団と保護者が一つになって教育・指導していかなくてはならないと思っています。ご協力をお願いします。



教務主事(校長補佐)
三井 聡

安心して過ごせる学校を目指して

4月から学生主事として学生指導全般を担当することとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

「学生指導」という言葉にはやや否定的なイメージが伴いがちですが、その目的をむしろ肯定的な意味、①学生一人ひとりが安心して学校生活を送ることができるよう援助をすること、②学校での生活や様々な活動を通して将来良き社会人となるように人間としての成長を促すこと、と捉えて学生に接して参りたいと考えています。

ここ数年、学生の生活状況は表面的には比較的落ち着いていますが、その反面、スマートフォンなどの普及に伴うインターネット上でのやり取りに起因する人間関係上のトラブルが増える傾向にあります。人として相手を思いやった言動を心がける気持ちをもっと育てほしいと願っています。規範意識を高めることもこれに通じることでしょう。3月には本校でも国のいじめに関する法整備や施策に沿って「いじめ防止基本方針」を策定いたしました。個々の学生や教職員がお互いを尊重し合う学びの場を目指すべく、今後も啓蒙活動を続けて行きたいと考えています。

最後になりますが、昨年10件の自転車事故および数件の自動車事故・違反が報告されています。ご家庭におきましても、事故に遭わないように学生の体調管理や睡眠不足、そして走行マナーにご留意いただくことはもちろんのこと、自分が事故を起こさないよう折に触れて声をかけなければ幸いです。



学生主事(校長補佐)
鈴木 智己

今年度もまた「面倒だから、しよう!」

昨年度の明誠寮は大きな事件・事故もなく(処分による退寮者なし)、また、寮生の中に「公共や奉仕に対する意識の高まり」を感じるなど、非常に穏やかな1年だったと言えます。一方、保護者や担任への情報伝達といった点で主事として反省すべきこともあり、今年度はそれらを改善しながら、よりスピーディーに、誠実に、きめ細かく対応していく所存です。

寮生に対する指導方針は、「基本的な生活習慣を身につかせる」と「集団生活のルールを守らせる」を二本柱とし、加えて、今年度もまた「面倒だから、しよう!」をスローガンに掲げました。270名余りの多感な学生が、明誠寮での様々な経験を通して、「面倒だから、しない…」から「面倒だけど、しよう…」へ、そして「面倒だから、しよう!」へと、それぞれに成長していく姿を心に

描きながら、引き続き、担当主事補および係と協力して寮生諸君に向き合っていきたいと思っています。



寮務主事(校長補佐)
古崎 睦

学士(工学)授与・新制度1年目スタートです

専攻科長4年目の富樫です。昨年度の続編として標記新制度を紹介いたします。これまでは、専攻科2年生が指導教員の下で20ページ弱の研究論文を作成して大学評価・学位授与機構に提出し、その内容に関する筆記試験を受けて学士を頂く制度でした。その結果、数%の学生が試験に落ち、決まっていた進路が閉ざされるなどの影響が生じました。

新制度では、専攻科2年生の学士取得可否の最終判断を高専内で決めることが可能です。一方、限定された教員の特定研究テーマ枠内(大学評価・学位授与機構が認定)で研究を行うことが課せられました。また、研究の計画書と成果の要旨(各A4・2ページで2400~3000字程度)を同機構へ、指定期日までに審査手数料を添えて提出します。

旭川高専専攻科ではこの新制度利用の資格を取得したものの、全高専での認定には至りませんでした。今後は研究指導教員数の拡大のため、一人でも多く認定されるよう活動してまいります。皆さまの変わらぬご理解・ご支援をお願いします。



専攻科長(校長補佐)
富樫 巖

新学級担任からのメッセージ

1年



機械システム工学科担任
富永 徳雄

「袖すり合うも他生の縁」といわれるように、道内各地の中学校から来た学生がここで一緒になれたのは何かの縁です。得意分野のある学生はそれを伸ばすだけでなく、不得手な学生をサポートしてあげることも大事です。勉学をはじめ様々な場面でお互いに助け合う、一人ひとりにとって居心地のよいクラスにしましょう。

担任として学生に求めることは、「学生としての本分を忘れない」という前提の上で、「学校生活を楽しむ」ことです。そのためにも「自分を大切に（甘やかすのではなく!）」、「他人を大切に」ということを心がけてほしいと思います。クラスみんなで助け合って、焦らず、弛まず、着実に一歩ずつ成長していきましょう。



電気情報工学科担任
倉持 しのぶ



システム制御情報工学科担任
沢谷 佑輔

まだ入学したばかりで、いろいろなことに戸惑っていると思います。この高専の5年間は皆さんに与えられた社会に出るための貴重な準備期間です。「社会人」として立ちができるように何が自らが考えて行動できる人になってください。また困ったときは遠慮なく相談してください。

新入生の皆さん、旭川高専での生活には慣れましたか?中学生の時と比べて活動範囲が広がり、自分でできること、やらなければならないことが大幅に増えたことを実感しているのではないのでしょうか。高専生活を楽しみつつも、卒業時にどんな自分になっていきたいかをよく考え、目標に向かってしっかりと進んで行ってください。



物質化学工学科担任
吉田 雅紀

3年

機械システム工学科担任
河野 義樹

3年生は本格的に将来について考え始める重要な時期であり、皆さんはこれから様々な選択肢に思い悩むことでしょう。しかしながら、皆さんであれば、仲間と協力しながら自分なりの答えを見つけて進んで行けるものと感じています。小生も微力ではありますが、全力でそのサポートをしますので、宜しくお願い致します。



システム制御情報工学科担任
堀川 紀孝

3年後の皆さんはエンジニアでしょうか、それとも大学生や専攻科生として専門分野に磨きをかけているでしょうか?今取り組んでいる様々な分野の勉強、部活、クラスでの活動のどれもが、そのときの自分の「引き出し」になります。高専での残り3年間、何事にも一生懸命取り組んで下さい。

電気情報工学科担任
笹岡 久行

モンゴル国からの留学生1名を含む32名の学生にて新学期をスタートしています。今年度は『全員進級』をクラス目標に掲げていますので、学生のみなさんが全力で頑張ってくれることを期待しています。また、保護者のみなさまにおかれましても、変わらぬご支援をお願いできると幸いです。

物質化学工学科担任
松浦 裕志

本年度から3年間みなさんとともに学んでいきたいと思えます。3年生になると専門の科目も増え、難しくなります。日々の生活習慣から見直す必要もあります。社会に出ても恥じないように残りの学生生活を悔いなく過ごしていきましょう。学生生活が充実したものになるように皆さんのサポートをして参りますのでよろしくお願ひします。

新任教員からの挨拶



機械システム工学科
いしこう けいいち
准教授 石向 桂一

3月までJAXAの研究者として流体の数値シミュレーションに関する研究・業務を行ってきました。私は高専初体験なのですが、これまで培った人脈に高専関係者が多く、実は高専に親近感を得ています。学生と共に人間として研究者として成長出来るよう、教育・研究に尽力したいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。



電気情報工学科
ぎぼ たつや
講師 宜保 達哉

当校に赴任する以前は、民間企業で研究や開発、設計などの職務に就いていました。この経験を学生に伝え、学生が進路を選択する際の参考になれるよう努めて参ります。また、学生が自志を持ち、その志を基に人生を歩むことの有意性を伝えてゆく所存です。今後ともよろしくお願い致します。



物質化学工学科
ひょうの あつし
助教 兵野 篤

昨年11月に着任いたしました。東京理科大学薬学部で学位を取得し、前職は北海道大学の工学部で助教を務めていました。学生のみなさんが社会性を身につけると同時に、個性を伸ばしてのびのびと成長するためのお手伝いできればと思っています。教室か化学工学実験室にいますので遊びにきてください。



学生総合支援センターからのお知らせ



学生相談室開室日

昨年度までの学生相談室、進路支援委員会（今年度よりキャリア形成支援室に名称変更）および特別支援室が統合され、学生総合支援センターがスタートしました。私が初代センター長になりますが、上記三室は今まで通りに運営されます。今年度の室長は、学生相談室が一般理数科の近藤先生、キャリア形成支援室は私が兼任、特別支援室は教務主事であるシステム制御情報工学科の三井先生です。学生相談やハラスメントを含む相談などは学生相談室、キャリア形成や進路に関する指導はキャリア形成支援室、学習支援や特別支援教育などは特別支援室が担当いたします。学生総合支援センターとしては、上で述べた学生に対する総合的な支援を行います。センター長としてどれ

程の貢献ができるかはわかりませんが、本校学生のために全力を尽くしたいと考えております。そのためにも、本校教職員の方々はもちろんのこと保護者の皆様のご協力・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



学生総合支援センター長
石井 悟

曜日	時間	相談員	連絡先
月	15:00 ~ 17:00	教員相談員 櫻井 靖子 (一般人文科)	0166-55-8059 sakurai@asahikawa-nct.ac.jp
	12:30 ~ 16:30	カウンセラー (臨床心理士) 石黒 三知子	0166-55-8146 ishiguro@asahikawa-nct.ac.jp
水	15:00 ~ 17:00	教員相談員 小林 渡 (物質化学工学科)	0166-55-8039(小林) wataru@asahikawa-nct.ac.jp
		松岡 俊佑 (機械システム工学科)	0166-55-8007(松岡) matsuoka@asahikawa-nct.ac.jp
木	13:30 ~ 17:30	カウンセラー (臨床心理士) 藤井 厚子	0166-55-8146 0166-22-8189 (六条神経科) fujii@asahikawa-nct.ac.jp
金	15:00 ~ 17:00	教員相談員 近藤 真一 (一般理数科)	0166-55-8064(近藤) kondo@asahikawa-nct.ac.jp
		佐藤 陽亮 (技術創造部)	0166-55-8128(佐藤) y_satoh@asahikawa-nct.ac.jp
月 金	9:00 ~ 16:00	補助相談員 沢谷 みゆき (看護師 ^{※3})	0166-55-8145 m_sawaya@asahikawa-nct.ac.jp

※1 開室時間等については、休日・長期休暇・試験期間を除きます。

※2 水曜日・金曜日は隔週交代になります。

※3 看護師は隣の医務室にあります。

新入生合宿研修

各学科の級長に
インタビューしました!

- ① 印象に残った競技は?
- ② その理由
- ③ 今後について一言



1M(機械システム工学科) 杉永 幸太

- ① 選べないから全部!
- ② 男しかないせいかわ妙な結果が生まれ、結果的に勝つことができました。
- ③ 女の子がいたらもっと頑張れたと思います。



1S(システム制御情報工学科) 立花 龍人

- ① 一番盛り上がったミニバレー
- ② 仲間と団結して声援を送ったのが楽しかったです。
- ③ これからも仲間と楽しく仲良くやっていきたいです。



1E(電気情報工学科) 丹 友香

- ① ボールをつなぐのが楽しかったミニバレー
- ② クラス一丸となって応援をしました。
- ③ もっと仲良くなって団結できるクラスになりたいです。



1C(物質化学工学科) 井上 小都莉

- ① 作戦を立てるのが楽しかった5色綱引き
- ② 1Mには負けたくないという気持ちが合致しました。
- ③ これからも打倒1Mを目標に頑張ります!



新入生合宿研修を終えて 担当学生主事補 千葉 良一

4月16日(木)、17日(金)の2日間、ネパール深川において新入生の合宿研修が開催されました。この研修では、スポーツ活動や創作活動を通して、これから5年間を共に過ごす級友との親睦を深めたほか、担任教員団による学校生活オリエンテーション、卒業生による講話、学生会役員(上級生)による4学科の説明を聴くことで、本校の実情について学んできました。スポーツ活動ではミニバレー、玉入れ、五色綱引きが行われ、ほのぼのとスポーツを楽しむクラスもあれば、一丸となって勝利を目指すクラス、「力こそ全て」とパワーで押し切るクラスなど、特色が出ていました。この研修が、新入生達の順調な学校生活スタートの一助になってくれれば幸いです。

学生会長から



学生会会長(3C)
佐々木 慈生

「出会って2週間でこんなに団結できるものなのか」と感じた2日間でした。盛り上がったスポーツレクでは、クラスの団結力を見せつけてくれました。特にミニバレーでは声援が体育館中に響き、圧倒されました。某3Cが2年がかりでようやく得たものを君たちはもう手にしています。これから先、様々なことが君たちを待ち受けているでしょう。自分の教室が自分にとって居心地の良い、自分の居場所の一つになることを願っています。

行事予定

平成27年度
6～10月



6月	1日(月)～4日(木)	平成28年度専攻科前期学力選拔出願期間
	1日(月)～12日(金)	前期中間試験(授業内実施)(本科)
	13日(土)	平成28年度専攻科前期学力選抜試験日
	17日(水)～24日(水)	水原ハイテク高等学校交流事業(受入)
	25日(木)	進路に関する講演会(本科4年・専攻科1年)
	25日(木)～26日(金)	宿泊研修(本科2年)
7月	2日(木)	薬物乱用防止講習会(本科4・5年)
	9日(木)	第3回TOEIC IPテスト
	11日(土)～12日(日)	北海道地区高専体育大会(テニス)
	18日(土)～20日(月)	北海道地区高専体育大会
	30日(木)	思春期講演会(本科2年)
8月	3日(月)～10日(月)	前期末試験(本科)
	6日(木)～9月30日(水)	夏期休業(専攻科)
	13日(木)～9月25日(金)	夏期休業(本科)
	14日(金)～30日(日)	全国高専体育大会
	28日(金)～9月13日(日)	ニュージーランド・イースタン工科大学語学研修
9月	5日(土)～6日(日)	体験入学
	9日(水)～16日(水)	水原ハイテク高等学校交流事業(派遣)
	12日(土)	体験入学(十勝・オホーツク)
	28日(月)～10月2日(金)	特別指導期間
10月	10日(土)	北海道地区高専体育大会(ラグビー)
	11日(日)	ロボコン北海道地区大会
	23日(金)～25日(日)	高専祭
	24日(土)～25日(日)	保護者懇談会
	28日(水)～30日(金)	見学旅行(本科4年)

FANCT vol.122

「FANCT」…旭川高専を表す「ANCT」に「F」をつけて「Fun」（楽しい、愉快的）の音を付けました。旭川高専の楽しい情報を伝えること、また、読むのが楽しい学校だよりになるよう名付けました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

旭川工業高等専門学校

〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8000 (代表)

FAX 0166-55-8082

<http://www.asahikawa-nct.ac.jp>

学校だよりに掲載されている記事・写真などは、学校だよりへの掲載目的以外の利用及び外部への提供は一切行いません。また、個人情報に関するお問い合わせは、上記担当までご連絡ください。掲載の記事・写真・イラストなどのコピー・転写等の二次利用は固くお断りしております。

編集後記

平成27年度第1回目の「学校だよりFANCT」122号をお届けします。

4月5日(日)に入学式が行われ、期待と不安の入り交じった面持ちの初々しい若者たちが新たな第一歩を踏み出しました。夢の実現に向けて、5年間精一杯、自分の能力を高めていって欲しいと思います。

今年度も、豊富な話題や学生たちの学校での様子を、見やすい紙面を心がけながらお伝えしていきたいと思います。

学校広報WG 津田 勝幸